

**「みやざきボランティア体験月間2022」
(7~9月)**

報 告 書

【提唱団体】

社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会

【後援団体】

宮崎県

宮崎県教育委員会

宮崎県市町村ボランティア連絡協議会

【協力団体】

市町村社会福祉協議会（市町村ボランティアセンター）

NPO・ボランティア団体



目 次

1	世代別参加者数	1	
2	分野別参加者数	2	
3	ボランティア体験プログラムの内容		
(1)	宮崎市社会福祉協議会	「ボランティア体験メニュー」	3
(2)	都城市社会福祉協議会	「ボランティアの日体験活動」	4
(3)	延岡市社会福祉協議会	「～ブラックバス釣り駆除活動～」	5
		「～花壇の手入れ・苗植え～フラワーフレンズ」	6
		「～花壇の手入れ・苗植え～フローラルレディース」	7
		「～子ども食堂～」	8
		「～おもちゃの修理・マスコット作成～」	9
(4)	日南市社会福祉協議会	「みんなでボランティア」	10
(5)	小林市社会福祉協議会	「小学校自由研究お助け講座in秀峰高校」	11
(6)	小林市社会福祉協議会野尻支所	「ボランティア体験事業」	12
(7)	日向市社会福祉協議会	「夏休み児童サポートボランティア」	13
(8)	串間市社会福祉協議会	「廃油キャンドル作り教室」	14
(9)	西都市社会福祉協議会	「県下一斉ボランティア活動の日活動『一掃キレイ！大作戦』」	15
(10)	えびの市社会福祉協議会	「“お年寄りの”『困りごとお助け隊』」	16
(11)	国富町社会福祉協議会	「第19回「きれいなまちづくりボランティアのつどい」」	17
(12)	綾町社会福祉協議会	「ボランティア体験月間 in あや」	18
(13)	三股町社会福祉協議会	「障がい者のガイドヘルプ体験」	19
		「県下一斉ボランティアの日（第27回エコロジーボランティア in みまた）」	20
(14)	高鍋町社会福祉協議会	「かずら・蔦を使ってかごづくり」	21
		「鳴野浜をきれいに」	22
(15)	新富町社会福祉協議会	「富田浜クリーン活動」	23
(16)	木城町社会福祉協議会	「ふれあい教室」	24
(17)	都農町社会福祉協議会	「花いっぱいになーれボランティア」	25
		「音声訳体験」	26
(18)	門川町社会福祉協議会	「クリーン作戦歩こう会」	27

(19) 諸塚村社会福祉協議会	「ペットボトルキャップでボランティア！」・・・28
(20) 椎葉村社会福祉協議会	「オレンジの花で認知症を知ってほしい」・・・29
(21) 高千穂町社会福祉協議会	「絵手紙を書いて高齢者施設に届けよう」・・・30
(22) 五ヶ瀬町社会福祉協議会	「加勢の日～敬老の日お祝い訪問ボランティア～」 ・・・31

4 みやざきボランティア体験月間 2022 実施要領	・・・32
----------------------------	-------

はじめに

宮崎県社会福祉協議会では、平成8年から、毎年7月から9月までの3か月間を「みやざきボランティア体験月間」として位置づけ、市町村社会福祉協議会（市町村ボランティアセンター）やNPO・ボランティア団体の協力のもと様々なボランティア体験プログラムを提供し、県民のボランティア活動への参加ときっかけづくりを応援しています。

しかしながら、本年度も令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、プログラムの中止や変更を余儀なくされるケースが多く見受けられました。

そのような中実施された体験プログラムは29（昨年38）本、プログラムへの参加者は1,156（昨年824）人、また、実施にあたり協力いただいたNPO・ボランティアの方々は193（昨年229）人となりました。

この度期間内に実施された全てのプログラムを本報告書に取りまとめましたので、今後のボランティア活動への意識の向上や、参加への一助になれば幸いです。

最後に、本体験月間に御協力いただきました各市町村社会福祉協議会やNPO・ボランティアの方々をはじめ御協力をいただきました全ての方々に感謝申し上げます。

令和4年11月

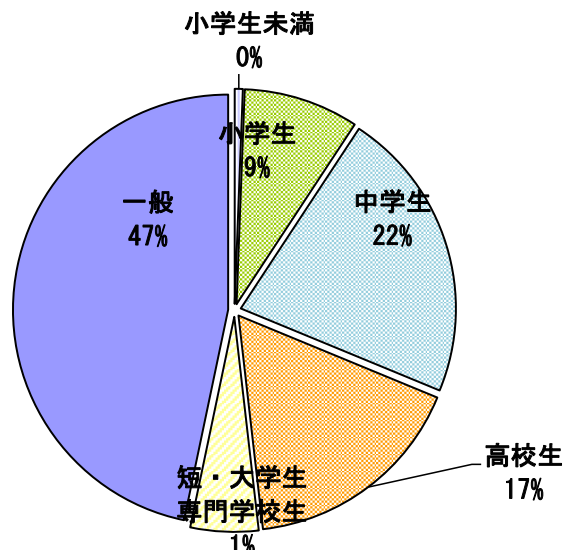
社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会

「みやざきボランティア体験月間2022」～世代別参加者数～

※斜線は中止及び期間外(西米良村は実施辞退)

		小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	総参加者数
宮崎市	本所	0	0	1	5	2	2	10
	清武支所							0
	田野支所							0
	佐土原支所							0
	高岡支所							0
都城市	本所							0
	山之口支所							0
	高城支所							0
	山田支所							0
	高崎支所	0	0	18	0	0	2	20
延岡市	本所	0	1	16	12	18	3	50
日南市	本所	2	0	1	105	16	58	182
小林市	本所	0	0	0	18	0	0	18
	須木支所							0
	野尻支所			1	5		4	10
日向市	本所	0	0	0	25	9	0	34
	東郷支所							
串間市		0	8	0	0	0	7	15
西都市		0	0	0	0	0	3	3
えびの市		0	0	70	4	0	0	74
国富町		0	1	0	0	0	44	45
綾町		0	0	29	3	0	0	32
三股町		0	0	0	0	9	0	9
高原町								0
高鍋町		0	13	12	6	3	63	97
新富町		0	6	8	0	0	136	150
西米良村								0
木城町		0	32	0	0	0	5	37
川南町								0
都農町		0	7	0	0	0	4	11
門川町		0	0	25	13	0	22	60
美郷町	南郷事業所							0
	西郷事業所							0
	北郷事業所							0
諸塚村		5	2	1	0	2	153	163
椎葉村		0	10	0	0	0	25	35
高千穂町		0	20	0	0	0	0	20
日之影町								0
五ヶ瀬町		0	0	72	0	0	9	81
総参加者数		7	100	254	196	59	540	1,156

みやざきボランティア体験事業2022
～世代別～

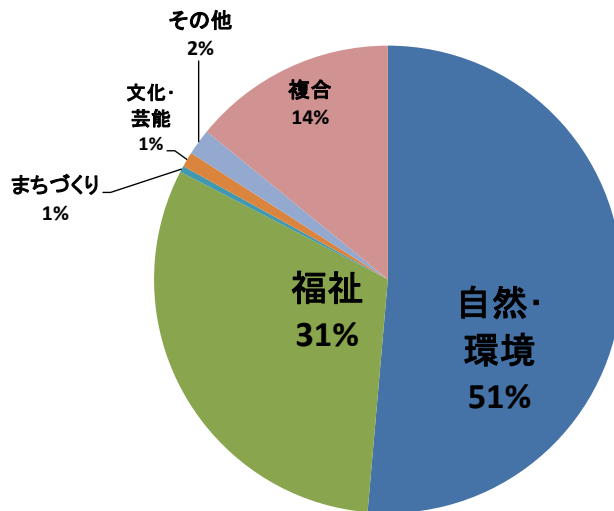


「みやざきボランティア体験月間2022」～分野別参加者数～


※斜線は中止及び期間外(西米良村は実施辞退) ※斜線は中止及び期間外(西米良村は実施辞退)

		自然・環境	参加者数	国際交流・多文化共生	参加者数	福祉	参加者数	防災・安全	参加者数	まちづくり	参加者数	文化・芸能	参加者数	複合	参加者数	その他	参加者数	プログラム数	参加者数
宮崎市	本所					1	10											1	10
	清武支所																	0	0
	田野支所																	0	0
	佐土原支所																	0	0
	高岡支所																	0	0
都城市	本所																	0	0
	山之口支所																	0	0
	高城支所																	0	0
	山田支所																	0	0
	高崎支所	1	20															1	20
延岡市	本所	3	28			1	11									1	11	5	50
日南市	本所	1	182															1	182
小林市	本所					1	18											1	18
	須木支所																	0	0
	野尻支所															1	10	1	10
日向市	本所					1	34											1	34
串間市		1	15															1	15
西都市		1	3															1	3
えびの市						1	74											1	74
国富町		1	45															1	45
綾町						1	32											1	32
三股町		1	6			1	3											2	9
高原町																		0	0
高鍋町		1	85									1	12					2	97
新富町		1	150															1	150
西米良村																		0	0
木城町						1	37											1	37
川南町																		0	0
都農町						1	6			1	5							2	11
門川町		1	60															1	60
美郷町	南郷事業所																	0	0
	西郷事業所																	0	0
	北郷事業所																	0	0
諸塚村														1	163			1	163
椎葉村						1	35											1	35
高千穂町						1	20											1	20
日之影町																		0	0
五ヶ瀬町						1	81											1	81
プログラム数計		12	594	0	0	12	361	0	0	1	5	1	12	1	163	2	21	29	1,156

みやざきボランティア体験事業2022
～分野別～



社 協 名	宮崎市社会福祉協議会 本所
-------	---------------

ボランティア体験プログラム名		ボランティア体験メニュー						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	宮崎市内の福祉施設にボランティアの受け入れ状況や、希望するボランティア内容などの調査を行い、ボランティア体験メニューを作成した。 宮崎市内の学校や各地区社会福祉協議会、本会来所者等への周知を行い、本体験メニューをきっかけに、ボランティア活動ならびに福祉に対する活動への理解を深めることを目的として実施した。						活動分野	
							福祉	
実施日	令和4年7月～9月							
活動場所 (建物名等)	各福祉施設、団体等の活動場所							
協力団体								
総 数 (体験者数+協力者数)							10名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
			1	5	2	2	10名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
							0名	
活動の様子など	<p>体験月間中の新型コロナ感染拡大により、急遽受け入れができない施設も出たが、受け入れて頂ける施設もあった。</p> <p>また、ボランティア希望の相談に対して、本メニューを使い、一緒にボランティア先を探ることができ、より相談者が望むボランティア活動につなげることができたと考え</p> <p>る。</p> <div style="text-align: right;">  </div>							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	都城市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		ボランティアの日体験活動						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	高崎総合公園及び周辺道路のゴミ拾いを地域のボランティアといっしょに行うことにより、ボランティア活動の楽しさ、意義を体験してもらう。						活動分野	
							自然・環境	
実施日	令和4年8月8日（月）							
活動場所 (建物名等)	高崎総合公園及び周辺道路							
協力団体	高崎町ボランティア連絡協議会							
総 数 (体験者数+協力者数)							39名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
			18			2	20名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計	
						19	19名	
活動の様子など	<p>コロナ対策のため、ボランティア連協のメンバー1人と中学生3~4人でグループを作り、ゴミ拾いを行った。ゴミの分別などを教えてもらうなど、ボランティアの皆さんとのコミュニケーションもよく取れていた。</p> <p>空き缶やペットボトルがごみ袋ひとつにいっぱいになり、改めてゴミの問題を考える日となった。</p>						 	

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	延岡市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験 プログラム名	ボランティア体験 ～ブラックバス釣り駆除活動～						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに関心のある方に対して、地域のボランティアグループ等での体験を通して、ボランティア活動へのきっかけづくりを提供する。 NPO法人金堂ヶ池を美しくする会に協力を得て、外来魚（ブラックバス）の駆除活動を体験。						活動分野 自然・環境
実施日	令和4年7月3日（日）、7月17日（日） 8月7日（日）、8月21日（日） 9月4日（日）、9月18日（日）						
活動場所 (建物名等)	西階公園金堂ヶ池						
協力団体	NPO法人金堂ヶ池を美しくする会						
総 数 (体験者数+協力者数)							18名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		1	8	6		3	18名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
							0名
活動の 様子など	魚釣りが好きな方々が、自分の特技を生かしたボランティア活動ができるということで、沢山の参加があった。一度だけの参加ではなく、毎回参加する方もいた。						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	延岡市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		ボランティア体験 ～花壇の手入れ・苗植え～						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに関心のある方に対して、地域のボランティアグループ等での体験を通じて、ボランティア活動へのきっかけづくりを提供する。 フラワーフレンズに協力を得て、植物園内の花壇の手入れや苗植えを体験。						活動分野	
							自然・環境	
実施日	令和4年9月13日（火）							
活動場所 (建物名等)	延岡植物園							
協力団体	フラワーフレンズ							
総 数 (体験者数+協力者数)							18名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
					8		8名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						10	10名	
活動の様子など	<p>暑い中、一生懸命草取りや苗植えを行った。</p> <p>また、活動後は、会員と参加者でお茶を飲みながら交流を行った。</p> <p>会長から「若い人達に、フラワーフレンズの活動を知ってもらえてとても嬉しいです。」と、喜びの声をいただいた。</p>							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	延岡市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		ボランティア体験 ～花壇の手入れ・苗植え～						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに関心のある方に対して、地域のボランティアグループ等での体験を通じて、ボランティア活動へのきっかけづくりを提供する。 フローラルレディースに協力を得て、植物園内の花壇の手入れや苗植えを体験。	活動分野						自然・環境
実施日	令和4年9月12日（月）							
活動場所 (建物名等)	延岡植物園							
協力団体	フローラルレディース							
総 数 (体験者数+協力者数)							2名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
					2		2名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						5	5名	
活動の様子など	<p>雨が降る中の作業だったが、草取りを行うことができた。作業中、花の種類や育て方などについて話すなど、交流がみられた。</p> <p>代表者からは「会員が少なくなる中、若い人たちがボランティアに来てくれて助かります。また交流が出来て元気がもらえます。」と喜びの声を聞くことができた。</p>							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	延岡市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		ボランティア体験 ～子ども食堂～						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに関心のある方に対して、地域のボランティアグループ等での体験を通じて、ボランティア活動へのきっかけづくりを提供する。 市内の子ども食堂に協力得て、調理、配膳、受付、消毒作業等を体験。						活動分野	
							福祉	
実施日	子ども食堂土曜給食 : 9月3日(土) 子ども食堂のべおか今山 : 7月23日(土)、8月27日(土)、9月27日(土) みんなの食堂♡牧 : 8月20日(土)、9月17日(土) 幼老交流ととろ食堂 : 9月3日(土) 子ども食堂恒富 : 8月20日(土)、9月17日(土)							
活動場所 (建物名等)	子ども食堂土曜給食 : 山下新天街の中・今山登り口 子ども食堂のべおか今山 : レスパイトサービスあるたすLCC みんなの食堂♡牧 : 牧公民館、無鹿公民館、大門公民館 幼老交流ととろ食堂 : 一ヶ岡コミュニティセンター 子ども食堂恒富 : 恒富公民館、古城町個人宅							
協力団体	子ども食堂土曜給食 子ども食堂のべおか今山 みんなの食堂♡牧 幼老交流ととろ食堂 子ども食堂恒富							
総数 (体験者数+協力者数)							11名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
			4	3	4		11名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
							0名	
活動の様子など	各子ども食堂で、調理や食材の盛り付けの手伝い・机や椅子の準備や清掃・消毒作業などを行った。子ども食堂スタッフは学生の参加を喜んでいました。							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	延岡市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		ボランティア体験 ～おもちゃの修理・マスコット作成～						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに関心のある方に対して、地域のボランティアグループ等での体験を通じて、ボランティア活動へのきっかけづくりを提供する。 おもちゃ病院のべおかに協力を得て、簡単なおもちゃの修理やマスコット作成を体験。						活動分野 その他	
実施日	令和4年7月9日(土)、7月23日(土)、8月27日(土)、9月24日(土)							
活動場所 (建物名等)	延岡市社会福祉センター							
協力団体	おもちゃ病院のべおか							
総 数 (体験者数+協力者数)							11名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
			4	3	4		11名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
							0名	
活動の様子など	<p>簡単なおもちゃの修理の手伝いや、マスコット作りを体験した。 作成したマスコットは、交通安全協会へ寄付し、小学新一年生になる子供に配布される。</p>							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	日南市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		みんなでボランティア						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティア活動をはじめめるきっかけづくりになることを目的に、身近な場所の清掃活動（環境ボランティア）を行う。						活動分野	自然・環境
実施日	令和4年7月24日（日）							
活動場所 (建物名等)	日南市内（飢肥・日南・南郷）駅周辺							
協力団体	日南市ボランティア連絡協議会、日南市役所総合政策課							
総 数 (体験者数+協力者数)							195	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
	2	0	1	105	16	58	182	名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計	
	0	0	0	0	0	13	13	名
活動の 様子など	<p>日南市内の（飢肥・日南・南郷）駅周辺に分かれ、コロナ感染対策をしっかりと行いながら、久しぶりのボランティア活動へ「心をつ」に環境美化活動を実施した。</p> <p>朝から普段利用している駅周辺をきれいにすることで、皆が気持ちよく過ごせるまち、観光客にもきれいだと思われる日南市になったと感じた。今後も継続して活動していきたい。</p>							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	小林市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験 プログラム名	小学生自由研究お助け講座in秀峰高校						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアへの理解や関心を深めることを目的として、高校生が学習支援を体験する。 小学生の夏休みの自由研究の学習支援						活動分野
							福祉
実施日	令和4年7月29日(金)						
活動場所 (建物名等)	小林秀峰高等学校						
協力団体	小林秀峰高等学校						
総 数 (体験者数+協力者数)							18名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
				18			18名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
							0名
活動の 様子など	<p>「パソコンのエクセル講座」と「紙飛行機講座」の2チームに分かれて学習支援を実施。</p> <p>また、高校生が企画をはじめ各講座の進め方やまとめ方等を自分たちで考え、当日の運営や司会進行などを行った。</p> <p>当日、緊張は見受けられたが小学生へのコミュニケーションも上手に図れていた。</p> <p>なお、コロナ感染予防の観点から、教室・備品等の消毒、検温、マスク着用を徹底した。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	小林市社会福祉協議会 野尻支所
-------	-----------------


ボランティア体験プログラム名		ボランティア体験事業						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	学習支援ボランティアグループの設立につなげることを目的に事前に学習支援前から携わり、当日の学習支援ボランティア体験活動を実施した。						活動分野 その他	
実施日	令和4年7月30日(土)							
活動場所 (建物名等)	野尻町保健福祉センター 友愛会館							
協力団体								
総 数 (体験者数+協力者数)							10名	
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
			1	5		4	10名	
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
							0名	
活動の 様子など	<p>ボランティアは事前準備から携ってもらい、当日のボランティア体験活動を実施した。</p> <p>今回は、新型コロナウイルス感染症の増加により、時間を午前中だけに短縮して開催した。</p> <p>また、感染防止対策として、事前の健康チェック表記入や当日の検温・マスク着用・手指の消毒等密にならないように気を付けるとともに、換気を行いながら宿題別に部屋を分けて実施した。</p> <p>参加児童には事前の下準備をお願いしており、当日はボランティアにアドバイスを受けながらスムーズに宿題に取り組むことができた。ボランティア活動者は、それぞれ得意分野を活かすことができ、意欲的に児童に関わっていた。児童からは「今日、やりたいことが終わって良かった」「分かりやすく教えてもらって良かった」「色々話せて楽しかった」「是非、次回も参加したい」という声もあり、保護者からも大変喜ばれた。また、学習支援を通して、世代間交流を図ることができた。</p>							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	日向市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		夏休み児童サポートボランティア						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	目的：ボランティア活動の場を望んでいるボランティア活動希望者に対して、ボランティア活動の活動の場を提供すると同時に、ボランティア参加者は活動への参加者を通して、立場の異なる人との関わり方や福祉について興味・関心をきっかけとする。 活動内容：学習・宿題サポート、遊びのサポート、ボランティア活動記録の記入						活動分野	
							福祉	
実施日	令和4年8月1日（月）～8月25日（木）							
活動場所 (建物名等)	大王谷児童館（大王谷コミュニティセンター）児童クラブ 日知屋児童センター（日知屋児童館内）児童クラブ							
協力団体	大王谷児童館 日知屋児童センター							
総 数 (体験者数+協力者数)							34名	
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	
				25	9		34名	
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一 般	計	
							0名	
活動の 様子など	<p>本企画に参加した高校生・大学生は、試行錯誤しながら、ボランティア活動に積極的に取り組んでいる様子だった。児童クラブ利用児童と向き合うことを通して、「児童に対して苦手意識がなくなった」「自分は子どもが結構好きだと気付いた」など意見があがった。</p> <p>今回の活動がボランティアや福祉に対する関心や興味を持つきっかけになったと思われる。</p> <p>活動期間中は、新型コロナウイルス感染拡大防止を徹底した上で実施した。</p>							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	串間市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験 プログラム名	廃油キャンドル作り教室						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	<p>環境保全の啓発として、捨てるものからの作品作りを通して地球温暖化や省エネ、ゴミ減量など身近な環境問題に気づくことが出来ることを目的としている。</p> <p>また、イベント（キャンドルナイト）参加では、すべての参加者、関係団体等と協力してキャンドル配置、点火に係り、ボランティア意識の向上にもつなげられることを期待する。廃油と卵の殻を使いキャンドルを作成した。</p>						活動分野
							自然・環境
実施日	令和4年7月24日（日）						
活動場所 (建物名等)	旧本城中学校（調理室）						
協力団体	講師：宮崎県環境保全アドバイザー 協力：環境ボランティアグループ 「環の会」						
総 数 (体験者数+協力者数)							19名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		8				7	15名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
							4名
活動の 様子など	<p>環境保全アドバイザーにより、廃油キャンドル作りの全体的な作り方や工程の説明があった後、参加者と一緒にそれぞれの工程を実践。</p> <p>参加した児童及び保護者が興味・関心を持って廃油キャンドル作りを行った。</p> <p>参加した児童及び生徒からは、「参加して良かった。」「家でも作ってみたい。」との声を頂いた。</p>						(写真)
							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	西都市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		県下一斉ボランティア活動の日活動 「一掃キレイ！大作戦」					
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	西都市内の区域をボランティア連絡協議会の構成員と地域住民が協力して清掃し、環境美化活動と実践者同士の連帯感及び地域とのつながりを高める。						活動分野
							自然・環境
実施日	令和4年9月11日（日）						
活動場所 (建物名等)	あいそめガーデン（記紀の道の一部/ボランティア連絡協議会管理の花壇）						
協力団体	ボランティア連絡協議会構成団体、地域住民						
総 数 (体験者数+協力者数)							10名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						3	3名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						7	7名
活動の様子など	<p>西都市記紀の道にある西都市ボランティア連絡協議会が管理する花壇「あいそめガーデン」周辺及び記紀の道の一部を近隣地域住民と協力して活動を行った。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	えびの市社会福祉協議会
-------	-------------

ボランティア体験プログラム名	”お年寄りの”「困りごとお助け隊」						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	高齢者の生活上の困りごとの一つである、庭の草取りや窓ふきなどを、中学生がボランティアとしてお手伝いをする事で、地域課題に触れるとともに地域高齢者との交流を図る。						活動分野
							福祉
実施日	真幸地区：7月29日（金）、加久藤地区：8月2日（火）、上江地区：8月4日（木）、飯野地区：8月10日（水）						
活動場所（建物名等）	えびの市内の高齢者宅						
協力団体	えびの市民生委員児童委員協議会、えびの市高齢者クラブ えびの市在宅介護支援センター、えびの市自治会						
総数 （体験者数+協力者数）	体験者：中学生70名、高校生4名 協力者：民生委員6名、高齢者クラブ3名、 一般のべ3名、スタッフのべ18名						104名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			70	4			74名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
							0名
活動の様子など	<p>「困りごとお助け隊員」（中学生70名、高校生4名）は、4～5名のグループに分かれ、市内の高齢者宅14件の清掃活動を行った。</p> <p>活動中は高齢者との会話を楽しみながら、草取りや窓ふきなど1時間程度の清掃活動を行った。</p> <p>参加者からは「日頃体験できない活動ができて良かった」「またボランティアに参加したい」など、ボランティア活動の満足感や達成感を感じてもらうことができた。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	国富町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験 プログラム名	第19回「きれいなまちづくりボランティアの つどい」						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	福祉のまちづくり、自然環境保護など多様なボランティア活動への理解を深めることを目的に開催。町内4コースに分かれ、県・町道の歩道部分の清掃美化活動を行った。収集したごみは、社協事務所で分別した。						活動分野 自然・環境
実施日	令和4年8月28日(日)						
活動場所 (建物名等)	国富町内の県・町道の歩道部分						
協力団体	国富町ボランティア連絡協議会						
総 数 (体験者数+協力者数)							48名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		1				44	45名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						3	3名
活動の 様子など							
	開会の様子			清掃活動の様子			

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	綾町社会福祉協議会
-------	-----------

ボランティア体験プログラム名		ボランティア体験月間inあや						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	町内在住の小学生～大学生を対象に福祉分野での仕事内容や現状等を知ってもらうことを目的として、町内福祉施設（児童施設・介護施設・障がい者施設）に協力を依頼し、利用者との交流や環境整備等ボランティア活動を行う。						活動分野	
							福祉	
実施日	令和4年7月22日（金）～令和4年7月29日（金） ※令和4年8月予定分は中止							
活動場所 (建物名等)	綾町立南俣保育所、綾町立中坪保育所、綾保育園 綾町児童館、綾町ケアハウスうるおいの里							
協力団体	町内幼保育所、児童福祉施設、高齢者入所施設							
総 数 (体験者数+協力者数)							32名	
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
	0	0	29	3	0	0	32名	
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
	0	0	0	0	0	0	0名	
活動の 様子など	<p>綾保育園では、子どもたちの身の回りの世話や、一緒に遊ぶことを真剣に取り組んだ。将来、幼稚園教諭や保育士を目指す方も参加しており、大変貴重なボランティア体験となった。</p>							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	三股町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		障がい者のガイドヘルプ体験						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	『障がい者ふれあいサロン』において、視覚障がい者、知的障がい者の方の理解と交流を深めながら、ガイド方法を体験する。						活動分野	
							福祉	
実施日	令和4年7月14日(木)							
活動場所 (建物名等)	三股町総合福祉センター							
協力団体	エアロビックダンス(上村裕子氏) 藤元メディカルシステム附属医療専門学校							
総数 (体験者数+協力者数)							12名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
					3		3名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
							0名	
活動の様子など	<p>中学校の部活の指導者でもある、エアロビックダンスの上村氏を講師に招き、ストレッチ体操を体験。</p> <p>障がい者の言動や体調を観察し、声掛けや介助を行うことで、個々に合った心身の負担軽減方法について学ぶことが出来た。</p>							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	三股町社会福祉協議会
-------	------------



ボランティア体験 プログラム名	県下一斉ボランティアの日 (第27回エコロジーボランティアinみまた)						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアの入り口として、最も関わり易いと思われる、環境美化活動。 駅周辺・公園・河川敷など、草刈・ゴミ拾い・分別作業を行い町の環境について考える。						活動分野
							自然・環境
実施日	令和4年8月28日(日)						
活動場所 (建物名等)	町内全域(公園・河川敷を中心に24箇所に分割)						
協力団体	三股町ボランティア連絡協議会、さんさんクラブみまた 三股町障がい児者連絡協議会、三股町身体障害者連絡協議会 さつき福祉作業所(家族部会)						
総 数 (体験者数+協力者数)							542名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
					6		6名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
							0名
活動の 様子など	参加者は視覚障がい者のガイドヘルプとして一緒に作業を行った。作業を通して負担軽減の方法を学ぶことが出来た。						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	高鍋町社会福祉協議会
-------	------------


ボランティア体験 プログラム名	かずら・鳶を使ってかごづくり						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	高齢者クラブ連合会にボランティアとして指導をして頂き、小・中学生とかご作りを行い交流を深める。						活動分野
							文化・芸能
実施日	令和4年8月19日（金）						
活動場所 (建物名等)	高鍋町老人福祉館 大会議室						
協力団体	高鍋町高齢者クラブ連合会						
総 数 (体験者数+協力者数)							22名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		7	5				12名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						10	10名
活動の 様子など	<p>日頃から地域に出向きボランティア活動をされる高齢者クラブの活動について、会長から話があり、ボランティアについての学びの時間があった後、制作に取り掛かった。</p> <p>難しい底の部分は高齢者クラブの方が予め準備されていたので、スムーズに作業が進んだ。</p> <p>熱心に話を聞き、丁寧に編み、自然と会話が弾むことにより楽しい世代間交流の時間となった。</p> <p>児童らは「(高齢者の皆さんと)一緒に作ったので大変だったけど良いかごができた」と喜び、高齢者クラブの方々も「次回も参加したい!」などと話された。</p>						 

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	高鍋町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験 プログラム名	鳴野浜をきれいに						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティア活動への理解や関心を深めるためのきっかけ作りとして、環境美化を体験する。						活動分野 自然・環境
実施日	令和4年8月28日(日)						
活動場所 (建物名等)	高鍋町鳴野浜						
協力団体							
総 数 (体験者数+協力者数)							96名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		6	7	6	3	63	85名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						11	11名
活動の 様子など	<p>高鍋町ボランティア連合会会長によるボランティア活動の話聞いた後、活動にかかった。</p> <p>海岸に行き、手際よくゴミ拾いを行った。台風前で漂流物は昨年より少なかったが、45リットル100枚を使用し、分別して終了した。</p> <p>天気も良く、気持ちよくボランティア活動が出来た。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	新富町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		富田浜クリーン活動						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	富田浜の清掃を行い、美しい海岸の維持に努める						活動分野	
							自然・環境	
実施日	令和4年9月23日（金）							
活動場所 (建物名等)	富田浜							
協力団体	新富町役場 都市建設課							
総 数 (体験者数+協力者数)							158	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		6	8			136	150 名	
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計	
						8	8 名	
活動の 様子など	<p>9月23日（金）秋分の日 朝7時から8時まで富田浜の清掃を行った。 新富町民150人の参加者。感染予防のため、町内在住又は勤務者に限定した。 台風の発生によりゴミや流木がかなり多く打ち寄せていた。 参加者もゴミを分別しながら活動を行っていた。</p>							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	木城町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		ふれあい教室						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	聴覚障がい者の日常を知り理解を深めるとともに、コミュニケーション手段である手話学習を行った後、聴覚障がい者の方へ支援を行いながら手話ボランティア活動を体験することを目的に実施。						活動分野	福祉
実施日	1回目 令和4年9月21日(水) 2回目 令和4年10月3日(月)							
活動場所 (建物名等)	1回目 高城児童館 2回目 椎木児童館							
協力団体	木城手話サークル「もくもく」							
総 数 (体験者数+協力者数)	1回目 17名 2回目 27名						44	名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	
		32				5	37	名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	
						7	7	名
活動の様子など	<p>聴覚障がい者の方を招き、日頃使っている会話を交えながら手話を教えて頂いた。 今回は子供達に手話を使ったなぞなぞや手話歌を教えて頂いた。 また、聴覚障がい者の方とコミュニケーションを図りながら、手話ボランティア活動の体験をした。</p>							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	都農町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		花いっぱいになーれボランティア						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	町内の小学生や老人クラブ役員に募り、花植えのボランティアに参加して頂いた。病院や薬局、駅等に花を植えたプランターを配り、町民の方々に花を観て元気になってもらいたいというボランティア活動で、花を飾っていただいた企業の担当者からは『大切に管理させていただきます。ありがとうございました。』とのコメントを頂いた。						活動分野	
							まちづくり	
実施日	令和4年8月3日（水）							
活動場所(建物名等)	都農町社会福祉協議会（老人福祉館・車庫倉庫）							
協力団体	都農町老人クラブ連合会、三鍋種苗店							
総 数 (体験者数+協力者数)							9名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		1				4	5名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						4	4名	
活動の様子など	<p>開催日前日、町内の新型コロナウイルス感染者が急激に増えたニュースが流れ、参加を予定していた児童の殆どが参加を見送られた。当日は感染症対策を徹底しながら小学生1名と都農町老人クラブ連合会役員3名、種苗店店主1名の合計5名での活動を行った。ひとりでも多くの町民の皆様には花を観て元気になってもらえるように心を込めてプランターに花植えを行った。定植した40鉢のプランターは町内20箇所の施設等に飾っていただいた。</p>							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	都農町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		音声訳体験						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	視覚障がい者の方々に定期的に発行される町週報をテープに録音し声のお便りをつくる音声訳グループ『ひなげし』のボランティア活動を体験した。						活動分野	
							福祉	
実施日	令和4年7月22日（金）							
活動場所 (建物名等)	都農町社会福祉協議会（都農町老人福祉館）							
協力団体	音声訳グループひなげし							
総 数 (体験者数+協力者数)							9名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		6					6名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						3	3名	
活動の様子など	<p>参加した児童6名は、音声訳グループ『ひなげし』の会員3名からボランティアの内容についての説明を受け、視覚障がいについて考え、ボランティアの必要性を理解した上で町役場が発行する週報をハキハキとした声に強弱をつけながら聞き手の気持ちを考えて録音を行った。</p> <p>後日、テープを受け取られた利用者の方からは、『子どもの声が聞けて嬉しい。この時期をととも楽しみに待っています。』との声が聞かれた。</p>							



※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	門川町社会福祉協議会
-------	------------


ボランティア体験 プログラム名	クリーン作戦歩こう会						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	門川町ボランティア連絡協議会の環境ボランティア活動と健康増進活動の一環としてクリーン作戦を行い、会員間および一般参加者との交流を図り、地域貢献活動をするを目的とする。						活動分野 自然・環境
実施日	令和4年10月9日(日)						
活動場所 (建物名等)	向ヶ浜海岸、松林・五十鈴川河口						
協力団体	門川町ボランティア連絡協議会会員 一般住民・学生						
総 数 (体験者数+協力者数)							130名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計
			25	13		22	60名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一 般	計
						70	70名
活動の 様子など	<p>台風の後だったため、多くの流木があり、河川敷の遊歩道を確保するため撤去する作業を行った。</p> <p>また、ペットボトルや不燃物、ビニール等のゴミも多く、全員で環境美化活動を行うことができた。</p> <p>これまでになく多くの方にご協力を頂き、幅広い世代で取り組むことができ、とても実りのある活動となった。</p>						 

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	社会福祉法人 諸塚村社会福祉協議会
-------	-------------------

ボランティア体験プログラム名		ペットボトルキャップでボランティア！					
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	住民の誰もが「いつでも」「気軽に」取り組めるボランティア活動として、ペットボトルキャップの収集を行った。 この取り組みをとおしてSDGsの普及啓発やボランティア意識を高め、地球に暮らす一員として、貧困や環境について今、自分自身にできることを実践していくきっかけづくりにつなげることができた。 取り組みの目的、収集方法、還元の仕組み等をチラシを活用し、全住民（世帯）に周知した。						活動分野
							複数の分野
実施日	令和4年8月1日月曜日～9月30日金曜日						
活動場所 (建物名等)	村内全域（各世帯、事業所、当事者グループ、地域団体ほか）						
協力団体	ボランティア連絡協議会、婦人連絡協議会、村内公共・民間事業所ほか						
総 数 (体験者数+協力者数)							176名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
	5	2	1	0	2	153	163名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
							13名
活動の様子など	<p>実施期間中、村内の各家庭、当事者組織、事業所等において収集したキャップが社会福祉協議会に届けられた。</p> <p>収集したキャップはすべてリサイクル業者へ提供し、ワクチン費用に還元されることとなっている。また、活動への参加者数や成果は本会広報誌において住民に周知する予定である。</p> <p>今後も住民や関係機関と協働し、この取り組みを継続的に推進していきたい。</p>						 <p>みやざきボランティア体験月間とは？</p> <p>ペットボトルキャップの回収活動とは？</p> <p>収集したキャップはどうするの？</p> <p>↑全戸配布チラシ</p>

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	椎葉村社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験 プログラム名	オレンジの花で認知症を知ってほしい						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	認知症のテーマカラーであるオレンジで、お花紙のミニブーケを各団体やボランティア、小学生など多世代に作ってもらい理解啓発を図る。ブーケは敬老会にプレゼントする。						活動分野 福祉
実施日	令和4年9月						
活動場所 (建物名等)	放課後子ども教室、高齢者センター、複合拠点施設カテリエ、日中一時支援事業所しいのき、バス待合所						
協力団体	教育委員会、見守りボランティア、子育てサークル等						
総 数 (体験者数+協力者数)							38名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計
		10				25	35名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一 般	計
						3	3名
活動の 様子など	<p>9月が認知症理解啓発月間であることや、オレンジの花を作る意味を口頭や掲示物で伝えて取り組んでもらった。</p> <p>子育てサークルの方々に、事前準備やミニブーケの仕上げ作業をお願いした。</p> <p>仕上がった花束を敬老会のプレゼントとして高齢者へ贈った。</p> <p>特に子ども世代や子育て世代は、認知症に馴染みがない傾向にあることも分かった。</p> <p>「オレンジ＝認知症の人に気に掛けたい」といった雰囲気を感じ取ることができた。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	高千穂町社会福祉協議会
-------	-------------


ボランティア体験 プログラム名	絵てがみを書いて高齢者施設に届けよう						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	コロナ禍で人と人との交流が難しい中、高齢者施設の利用者の方々との繋がりを絶やさないことを目的に、「絵てがみ」を作成し、高齢者施設へ届ける活動を実施した。						活動分野 福祉
実施日	令和4年8月3日（水）						
活動場所 (建物名等)	旭ヶ丘保育園 学童クラブ						
協力団体	高千穂町ボランティア連絡協議会 旭ヶ丘保育園						
総 数 (体験者数+協力者数)							23名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		20					20名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						3	3名
活動の 様子など	<p>昨年に引き続き、コロナ禍により養護老人ホームの利用者の方々との交流が叶わなかったため、思い思いに「絵てがみ」を作成し、届ける活動を行った。</p> <p>季節の花や果物、野菜などを題材に作成。</p> <p>子供たちも楽しみながら、丁寧に一枚一枚を作成し、素敵な作品を届けることができました。</p> <p>施設の利用者の方々も大変喜ばれていた。</p>						 

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	五ヶ瀬町社会福祉協議会
-------	-------------

ボランティア体験プログラム名		加勢の日～敬老の日お祝い訪問ボランティア～						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	町内80歳以上のお一人暮らし高齢者の方を対象に、敬老の日のお祝いと見守りを目的とした訪問活動の体験を行う。事前に町内の中学生が作成した敬老の日のお祝いメッセージカードを、一般のボランティアの方々がお一人暮らし高齢者のお宅へお届けし、訪問聞き取りシートを基に普段の生活の様子（食事や買い物、移動手段等）についてお話をお伺いする。						活動分野	
							福祉	
実施日	令和4年9月13日（火）～9月16日（金）							
活動場所 (建物名等)	町内お一人暮らし高齢者宅							
協力団体	五ヶ瀬町ボランティア連絡協議会、日赤奉仕団、町内中学校							
総 数 (体験者数+協力者数)							81名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
			72			9	81名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
							0名	
活動の様子など	<p>新型コロナウイルス感染症に注意しながら、できるだけ玄関先で高齢者の方と距離を取りながら訪問活動を行った。ボランティアの方々が積極的に聞き取りをして下さり、お一人暮らし高齢者の方の困りごとや今後につながる課題点等、情報収集することができた。</p> <p>また、台風前という事もあり避難場所や手段、身近に連絡できる人がいるか等、災害に関する注意喚起もできた。</p>							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

みやざきボランティア体験月間2022

実施要領

趣 旨

宮崎県社会福祉協議会では、平成8年から、毎年7月から9月までの3か月間を「みやざきボランティア体験月間」として位置づけています。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、「新しい支え合い」の形を模索する日々が続きましたが、コロナ禍にあってもつながりを絶やすことなく、新しい生活様式に沿った、新たな視点でのボランティア活動への取り組みが求められています。

「みやざきボランティア体験月間」では、市町村社会福祉協議会(ボランティアセンター)やNPO・ボランティア団体の協力のもと、感染予防対策を講じながら、福祉、自然・環境、まちづくりなど様々な工夫をこらしたボランティア体験プログラムを提供し、県民のボランティア活動への参加ときっかけづくりを応援します。

名 称

みやざきボランティア体験月間2022

実施期間

令和4年7月1日(金)から9月30日(金)まで

提唱団体

社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会

後援団体

宮崎県
宮崎県教育委員会
宮崎県市町村ボランティア連絡協議会

実施団体

市町村社会福祉協議会(ボランティアセンター)、NPO・ボランティア団体



ボランティア体験プログラムの内容について

各市町村社会福祉協議会（ボランティアセンター）が下表の例を参考に参加される方が実際のボランティア活動を体験できるプログラムをNPO・ボランティア団体と協力して企画実施します。

活動分野	種類		内容例示
自然・環境	自然や環境を守るための活動		道路・公園などの清掃、海浜美化活動（ごみ集め）、植樹、森林の間伐、野鳥の保護活動、廃油を使った石鹸作りのサポートなど
国際交流・多文化共生	国際交流・国際協力に関する活動		通訳、難民救援、技術援助、砂漠の緑化活動（植林）、海外への食料援助、留学生支援 など
	多文化共生に関する活動		多言語での生活・医療相談、外国人の子どもサポート、多文化共生の理念を広げる活動 など
福祉	高齢者を対象とした活動		高齢者と若者（子ども）との交流の場づくり、高齢者へのレクリエーション指導及び相手、生きがいをづくりのための技能指導、友愛訪問や散歩相手、寝たきりやひとり暮らしの高齢者への給食サービス など
	障がい者を対象とした活動		視覚障がい児やし体不自由者の学校などへの誘導、障がい者へのレクリエーションまたは技能指導、在宅障がい者への友愛訪問・訪問介助サービス、障がい者の社会参加協力（車イスの提供など）、点訳・朗読・レコーディング・手話 など
	乳幼児・児童・青少年を対象とした活動		赤ちゃん相談、公園などでのレクリエーション指導、子ども会の援助・指導、児童保育、いじめ電話相談 など
防災・安全	安全な生活のための活動		地域の危険場所点検のための巡回、通学路の安全確保活動、交通安全運動 など
	防災・被災者支援に関係した活動		救援物資の確保・輸送、炊き出しなどの災害時の救援、がれき・土砂の撤去、家屋の片付け・清掃補助、仮設住宅への引越補助、災害復旧のための募金活動、病院等への移送・送迎、生活物資の提供・運送、被災地の高齢者の話し相手、被災地の子どもの遊び相手、復興の状況に関する情報提供、復興支援イベントの企画・実施、「火の用心」の巡回 など
まちづくり	まちづくりのための活動		道路に花を植える、駅の自転車置き場の整理、都市と農村の交流、地域団体のリーダーとしての活動、村おこし・地域おこしの活動 など
文化・芸能	スポーツ・文化・芸術に関係した活動	スポーツ	スポーツ教室における指導、スポーツ会場の警備、スポーツ大会の運営 など
		社会教育	各種講習会の開催サポート、情報弱者（パソコン）の支援など
		文化・芸術	音楽家・芸術家の育成支援、市民劇団の開催、演劇の鑑賞会の企画、伝統文化の継承と普及 など
その他	その他の活動		生活困窮者への支援、ボランティアのサポート など

実施に当たっての留意事項

- 1 ボランティア体験の内容や参加者募集等の情報発信は、宮崎県ボランティアセンターホームページ「ぶーら・ボ～ラ」を御活用ください。(<http://www.bura-vola.org/>)
- 2 宮崎県社会福祉協議会は県内で実施されたボランティア体験プログラムを報告書として作成し、広く情報公開してまいりますので、市町村社会福祉協議会（ボランティアセンター）においては事業終了後ボランティア体験の様子を別添様式により御報告ください。

なお、報告する場合の参加者数については、ボランティア活動を体験した参加者とそれ以外の関係者の人数がそれぞれ分かるよう集計してください。

御報告いただいた内容は、本会ホームページ、Facebook 上でも公開させていただく場合がありますのであらかじめ御了承ください。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況から中止する場合があります。



みやざきボランティア活動推進
マスコットキャラクター「ボラみん」

【問合せ先】

社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会 地域福祉部

地域・ボランティア課（宮崎県ボランティアセンター） 担当：井原

〒880-8515 宮崎市原町2番22号 宮崎県福祉総合センター 本館3階

TEL：0985-25-0539 FAX：0985-31-6575

たくさんのご参加、

ありがとうございました。



みやざきボランティア活動推進
マスコットキャラクター

ポラミン

